

急性期病院における脳梗塞患者の直接自宅退院に関する検討

1. 研究の対象

2017年4月から2022年3月までの5年間に当科に入院した脳梗塞患者。

2. 研究目的・方法

脳梗塞は後遺症を残す可能性が高い疾患であり、直接自宅退院することができずにリハビリテーション目的の転院が必要な場合や施設入所となる場合がある。入院早期から予後を予測することで、早期退院が可能と考えられる場合はすみやかに退院調整を行うことで入院期間の短縮を図ることができる。本研究では急性期病院における脳梗塞患者の自宅退院に影響を与える因子を明らかにすることを目的とする。2017年4月から2022年3月までの5年間に当科に入院した脳梗塞患者の転帰について、診療録を用いて後方視的に検討する。年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、症状、検査所見、入院後経過、転帰を調査し、急性期病院から直接自宅退院が可能であった患者に影響を与える因子を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、症状、検査所見、入院後経過、転帰について診療録を用いて後方視的に検討を行う。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：以下に記載

研究責任者：済生会横浜市南部病院 神経内科 中江啓晴

住所：〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10

資料 3

電話番号 : 045-832-1111

-----以上